

木造校舎に建て替え 沼田中学校 南校舎の解体がすすめられています

木造校舎への建て替え工事をすすめている沼田中学校では、仮設校舎が建設され、南校舎の取り壊し工事がすすめられています。

沼田中学校の建て替え工事は、今年度と来年度の2カ年でおこなわれ、今年度は沼田土建株式会社と萬屋建設株式会社が工事をおこなっています。

工事は、現在の校舎を取り壊し、木造平屋建ての校舎を建設する予定です。



住民の反対でアメリカではできないのになぜ日本で訓練をおこなうのか？

藤原ダムがオスプレイの飛行ポイント 沼田市の上空も通過



多くの死傷者を出しているオスプレイの飛行訓練について、アメリカのニューメキシコ州やハワイ州では、墜落事故の危険性や野生動物などへの影響を心配する住民の要望により、飛行訓練が中止されています。

しかし日本では群馬県上空を含む6つの飛行訓練ルートが勝手に設定されています。

群馬県上空を訓練ルートとする「ブルールート」では藤原ダムが飛行ポイントされ、玉原上空をオスプレイが飛行する可能性があります。



こんにちは 大東のぶゆきです

こんにちは。野田内閣が2013年度予算に対する各省庁の概算要求基準を決め、7月末に閣議決定した「日本再生戦略」の関連分野に重点配分するとしています。その再生戦略とは消費税を倍増する国民負担増の実行を前提に、大型公共事業の推進を掲げ、いっそうの大企業減税の検討を盛り込んでいます。

他方で社会保障予算を聖域化せずに見直すことと明記し、総選挙で民主党が「やらない」と公約した消費税増税を財源にして、民主党が口を極めて批判した自民党政治を全面的に復活させる背信の戦略です。

社会保障では、高齢化に伴う自然増の要求は認めるとしていますが、これは物価下落を口実にした年金削減などを前提とした話として概算要求基準は、自公政権時代を含めて過去最低の伸びに抑えた今年度につづく抑制路線を引き継ぎ、ムダ使いを拡大し、社会保障を切りすてるなど本末転倒の中身です。

戦争の惨禍を二度くり返さないために平和を語り継ごう

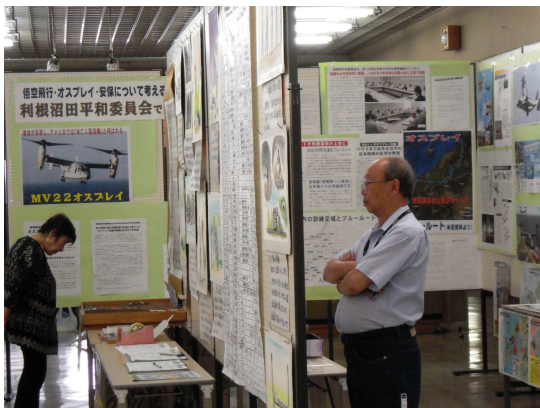


原発事故の講演もおこなわれた第32回平和のための戦争展

第32回平和のための戦争展が18日・19日の2日間、沼田市中心公民館で開かれました。

平和のための戦争展では、利根沼田の戦没者への献花がおこなわれ、利根沼田地域の戦争に関わる展示などが行われました。

福島原発事故について、丹治杉江さんが講演をおこないました。



9月定例会市議会は9月4日開会予定 みなさんのご意見・ご要望をお寄せください

9月定例会市議は、9月4日に開会される予定です。(日程は30日の議会運営委員会で決定されます)

9月定例会市議会では、前年度の一般会計と特別会計の決算認定、補正予算などが提案され、一般質問もおこなわれます。

2012年8月26日 NO. 318

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

ぶらり散歩 めまた道 利根町 その六十一 根利山 砥沢

日本の架空索道の歴史は、明治23年(1890)に足尾町の地蔵坂～細尾峠～日光市の細尾を結ぶ約3.7キロメートルに架設され、足尾銅山にはじまったといわれています。

砥沢～銀山平を結ぶ鉄索(砥沢線-本線)は、明治37年(1904)に全長10.2キロメートルで開通し、砥沢と平滝を結ぶ平河線、砥沢と源公平を結ぶ円覚線、平滝と広河原を結ぶ広河原線、その上流に延びる浅見沢線、不動沢線、唐沢線などの鉄索が大正15年(1926)までに開通しました。

砥沢には、その当時の鉄索を支えた木製の支柱が倒れたまま



鉄索を支えた支柱の跡が残っているものもあり、閉山から70年以上経過していますが、茶碗、ビン、焼酎瓶、なども残っています。



今も残るビンや湯飲み茶碗、焼酎瓶